

令和元年度

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	神楽尾公園
-------------	-------

(2) 指定管理者	所在地 津山市山北764番地5 名 称 株式会社ガット 代表者 代表取締役 美甘信吉
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 76,520人 (前年度 61,604人) ゴーカート利用者数回 12,067回 (前年度 9,766回) 管理棟研修室利用者 7回 述べ146人 (前年度8回) 野外調理施設利用者数 1,311人 (前年度 1,361人)
(2) 事業の内容	4月・・・神楽尾公園さくらまつり 春の交通安全教室 (総社保育園) 5月・・・端午の節句イベント、鯉のぼり展示 9月・・・秋の交通安全教室 (コッコ保育園) 11月・・・カートワングランプリ開催 ・・・桜の植樹 12月・・・掲示板の更新 2人乗りゴーカート更新 (2台) 1月・・・新春祭 2月・・・雛人形展示

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 9,818千円 (前年度 8,746千円) 利用料金収入 1,625千円 指定管理料 7,958千円 自主事業収入 19千円 その他の収入 216千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 9,194千円 (前年度 8,621千円) 主な支出 人件費 5,498千円 事務費 818千円 管理費 2,604千円 自主事業 274千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>利用者アンケート調査について、令和元年6月8日～11月4日の期間で、アンケート調査を実施。32件の回答を頂く。公園利用者年代別に40代が最も多く、次いで30代、60代の方など広く利用を頂いている。今回は特に30代・40代のお子様連れのからの回答を多く頂きました。地域別の利用割合は津山市内と県北で約6割となりますが、残り4割は岡山県南や県外となり遠方からの来園が増えている。</p> <p>要望や感想の内容は、</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴーカートがあるとは知らなかつたので、いろいろ乗り物があつて楽しかつたです。・ゴーカートがリーズナブルで大人も子供も楽しめてよかったです。大人も楽しめる足こぎ三輪車があつたら楽しめそうです。・遊具（乗り物）が以前より増えてよかったです。3歳までの乗り物がもう少しあれば良いかも。安全面の声掛けも出来ていた（ルールなど。）・子供が大変喜びました、ありがとうございました。・信号機があるコースを走ったのが初めてなので子供たちは喜んでいました。・安くゴーカートに乗れてよいです。人も少なくてふらつと立ち寄れるので嬉しい。手入れもされている！・職員さんの対応がとっても良かったです。・屋根付きの待ちスペースができていて非常に快適です。スタッフ手作りだというテーブルもあたたかみがあります。ゴーカートも安く利用できるので助かります（良心的！）無料三輪車も子供が無料ででき夢中で遊んでくれます。いつもありがとうございます。・天候が良くゴーカートが気持ちよかったです。木彫りの人形がかわいかったです。・子供たちはこの公園に来たくて帰省をせがみます。三代にわたって楽しませてもらっています。へんにきらびやか（？）にすることなくこのままがいいです。・私が子供の時から、母の帰省のたびに公園に遊びに来ています。格安でゴーカートに乗れるのは嬉しいです。・子供達が好きで、よく利用しています！定期的なイベントいいですね。続けて頂いたら嬉しいです。 <p>以上のような声があつた。園内の清掃・整備・美化に引き続き取り組み、来園される方皆様に気持ちよく過ごして頂けるように日々の業務に努めてまいります</p>
-----------------	---

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>入園者数は新入園者数計算方式を用い、76,520人となり前年と比べ14,916人増で過去最高となった。年間を通じて天候に恵まれ入園者の増加となった。</p> <p>ゴーカート全体の売り上げは1,623,400円と、前年と比べ323,300円増加。</p> <p>快適な公園を目指し、剪定、草刈、除草、整備に取り組んだ。年度事業計画に対しては、公園管理、自主事業等は、計画通りに実施する事ができた。</p> <p>収益について、ゴーカートの老朽化や利用回数が増えたことにより、部品の交換や修理頻度が増えたこと、また2人乗りゴーカートを2台（中古）更新の為購入したことにより消耗品費が増加した。人件費は年間計画を軸に月単位のシフト管理を計画的に行い、繁忙期の来園者の増加を見込み人員を増やしたが、予算より抑えることができた。従来行っていた地域密着型の紙面でのチラシはなくし、ホームページやTwitterによる情報発信を増やし広告宣伝費の増大を抑えた。また、ネットでの情報発信により津山市近隣および岡山県南や県外からの利用が増え、利用料金の增收につながった。</p> <p>収支結果について、平成30年度に続き令和元年度も黒字となった。今後は、現在の収支を如何に維持・増加させていくことで、黒字増加を目指していきたい。令和2年度も継続した収益向上を目標に尽力します。</p> <p>事業計画のイベントは概ね計画どおり実施できた。</p> <p>2人乗り電動カーや3人乗りトレーラー式電動カーやエンジン式ゴーカートに乗れない年齢層の方に人気がある、また無料の三輪車等の乗り物は根強い人気がある。日々のメンテナンスにより、ゴーカート運営日は提供している乗り物が常に利用できる状態にしている。そのことは、来園者へのサービス向上につながっている。</p> <p>今後も安心、安全を最重点に利用者の方に喜ばれる施設づくりに尽力します。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき管理運営業務が着実に実施されている。 ・収支計画は事業計画と整合しており、広告宣伝費などの経費の削減に努め、効率的な運営の実施、工夫がなされている。 ・職員の適切な人員配置や育成がなされ、日常の事故防止・安全対策が実施され、緊急時の連絡体制、役割分担制が整っている。 ・周辺地域住民、利用者の要望に応え、良好な関係に努めている。 ・施設の利用を促進させるため、自主事業の開催内容等について、雑誌への掲載・HP・SNSにより誘客に努めている。 ・無料の4輪カート（バギータイプ、ボックスタイプ）の導入、猛暑時のシャワーミストの導入など来園者へのサービス向上へ努めている。 ・今後はより一層のサービス、管理運営業務の向上に努め、収益増加を目指して頂きたい。